

人のうごき

令和5年7月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

三住 理翔^{りと}くん (浩史・梨沙) 栄町

ごけっこん

棟方 和真^{さん} 比嘉 美好^{さん} 南5の3

おくやみ

彦野 幸正 ^{さん}	84歳	南1の1
石川 恵美子 ^{さん}	85歳	栄町
林 暇代 ^{さん}	70歳	南大通2
尾崎 厚子 ^{さん}	67歳	上築
和田 正子 ^{さん}	95歳	栄町
佐藤 とし ^{さん}	79歳	栄町
藤田 ウエ子 ^{さん}	92歳	焼尻
菅野 嘉幸 ^{さん}	93歳	栄町
逢坂 菊子 ^{さん}	84歳	北3の2
赤松 和子 ^{さん}	96歳	港町

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日も対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003 ※休日可)

人口と世帯数(7月末)

人口	6,218人	(- 5)
男	3,017人	(+ 5)
女	3,201人	(- 10)
世帯数	3,395世帯	(± 0)

()は前月比



Dr. 佐々尾の健康カルテ

従来の医療は、医師が患者さんに関する問題点を洗い出します。例えば、「肺炎」「認知機能低下」「心不全」・・・などといった、病気や病状を中心としたものです。この地域のように高齢者が多くなると、一つの病気だけを抱えているという方は稀で、多くの病気を抱えていることが多くなります。そして、それに伴って、受診する医療機関が複数になる、薬の種類も複数になる・・・など、複雑化していきます。医師は教育の中で学んでいる正しい治療を全て患者に適用する傾向があります。この薬は効果があるようだから使おうと考えるのですが、そもそも薬の治験は、一つの病気しか持っていない人が選ばれているようなことが多く、つまり、先ほど述べたような多くの病気を抱えているような方は対象になっていないことになり、効果や安全性には十分注意する必要があります。そして、他の病気だけではなく、その方の生活環境や経済状況など「社会的な問題」も気にしなければなりません。薬でふらついて転んでも誰か見つけてくれるのか？薬で物忘れしても大丈夫？薬が増えても間違わないか？高価な薬の医療費を払えるのか？など、患者さんの治療負担も考えなければなりません。

羽幌病院では昨年度から入院される患者さんについて、「社会的な問題」を抱えていないかを中心に、担当職員がお聞きするようにしています。「社会的な問題」は血圧や体温、脈拍と同様に、生死に影響を与えるためです。当院で入院すると、9割以上の方に対して専属の退院支援担当者として社会福祉士または看護師がつかます。この方が、医師が従来挙げていたような身体的な問題点以外の社会的な問題点を明らかにします。

聴取させていただく点は病院として決めています。「人間関係(親戚・近所など)」「仕事や経済状況」「趣味や生きがい」「健康観」「食事や住居(お風呂やトイレの状況など)」「医療・介護サービスの利用状況」「本人の価値観」について網羅的に確認することにしていきます。ここまでのコラムで、このような社会的な問題を聴取する理由はなんとなくお分かりいただけるかと思っておりますので、御協力いただければ幸いです。

これを聞いていくことによって、私たちが気づいていなかったことを知ることができ、退院後の生活に向けて必要なサービスを見つけ、支援につなげていくことができます。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

※ 広報はぼろ7月号の訂正について

広報はぼろ7月号の4ページ「羽幌町文化協会加盟団体をご紹介」で次の団体が紹介されていませんでした。お詫び申し上げますとともに次のおり訂正します。

団体名	種類
羽幌陶芸CLASS	陶芸

上記団体は会員の募集を行っていませんが、見学・体験は随時受け付けています。希望される方は、社会教育課 社会教育係(☎ 62-1178)までお問合せください。



広報はぼろ 令和5年8月号 No.722 発行 羽幌町 078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地1 編集 地域振興課
電話 0164(68)7013 FAX 0164(62)1219 メール c-kouhou@town.haboro.lg.jp ホームページ www.town.haboro.lg.jp